

卒業おめでとう！卒業生へ贈る言葉

夢中になれることを探そう！ あなたの輝ける場所は世界中にある！ 301担任 坪内 翼	「薔薇」のある人生を送ってください。「薔薇」は、人の「尊敬」の比喻として使われてきました。生きるために「パンと薔薇が必要だ」と言われます。パンは食べものなど実利的な物。一方で薔薇は無くても命はつながる。ですが、目に見える利益だけで生きるのは苦しいです。自分の尊敬を大切にすること、他者の尊敬を重んじること。(みんな)がそのような心がけで過ごしたら、きっとよりよい未来になるでしょう。豊かな未来を創ってください。これからのあなたたちに期待しています。卒業、おめでとう。 302担任 坂井 柚香	卒業おめでとうございます。 今の時代「高校生をする」というのも大変だったのでは、と私は思っています。 コロナとか、友達との付き合いとか、SNSでの関わりとか、勉強とか、部活とか、受験とか、そもそも学校に通うということの意味すらも、よくわからなくなることもあったかもしれない。嫌なことを言われたかもしれないし、つまらないことでケンカしたかもしれない… でも、ここまで何とかたどり着いたんだから、これからは何らずに負けずに進み続けてください。私もなんとか頑張ります。いつかまたどこかで会えたらいいですね！ 303担任 田中 佑樹	次の時代を作っていくのは君たちです。 「誰かがやるからいい」という意識は捨てましょう。自分を信じ、その若い感性で新しい時代を切り開いてください。 304担任 内田 義博
僕は「悪い状態と、良くなっている状態は、両立する」という言葉が好きです。ある人にとっての40点のテストが、「悪い」点数であり「前より良くなった」点数であるということは、あり得ますよね。 自分が調子に乗りすぎていると気づいた時は「自分はまだまだだ」と尻を叩き、自分を責めたくなったときは「でも少しずつ良くなる」と自分を励ます人でありたいです。 皆さんのますますの成長と活躍を願っています。 ご卒業おめでとうございます。 305担任 丹羽 雄飛	3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。「生きてるだけで丸もうけ」この言葉をご存知ですか？明石家さんまさんの娘である「IMARU」という名前の元となっているフレーズです。 私はこの言葉が好きです。 私を含め、大多数の人間は欲張りな人だと思います。だから、不満を抱いたり、怒りの感情を抱いたり、自分に嫌気がさしたり…。生きているからこそ、不安や悩みは絶えないと思います。僕はそれは悪いことだとは思いません。けど、そんな心でいていてもあんまりいいことって起きないんですよ。 これから先の人生においても、苦難に悩まされることもあると思います。 けど、前を向いて生きていけば必ず良い方向に進んでいくと僕は信じています。 「生きてるだけで丸もうけ」共に、前を向いて進んでいきましょう！ 306担任 一ノ瀬 裕也	行く河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。 淀みに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたる例なし。 我々は変わり続けます。変わり続け、それでいて絶えないものもあります。 変わり続けることを恐れず、諦めず、生きていて欲しいと思います。 ご卒業、おめでとうございます。 307担任 本多 洋平	誰とも競争することなく、ただ前を向いて歩いていこう。 いまの自分よりも前に進もうとすることこそ、価値がある。 素敵な人生にしてください。卒業おめでとうございます。 308担任 鰐部 将太
皆さんのエネルギー、好奇心、そして無限の可能性は、決して無駄にしないでください。失敗を恐れず、何事にも果敢に挑戦してください。挑戦の先には、成功と成長が待っています。遠慮はいりません、貪欲に生きましょう。 最後に英語科教員ばいことを少し。アメリカでは卒業式のことをCommencementといいます。そしてこのCommencementには「始まり」という意味があります。卒業は終わりでではなく、始まりなのです。 それぞれの「道」に進む皆さんの人生の新たな「始まり」に大きな期待を抱いて。 卒業おめでとう。そして、ありがとう。 309担任 中地 健斗	●●● 大変な時こそ 自分を大きく 変えるチャンス 物事は捉え方次第です。 できない言い訳や愚痴で終わるか、できる方法を考えてやっていくか。 できなくてもできなくてもいい。 チャレンジする気持ちが、みんなを成長させてくれるから。 皆さんの「大变身」今後も期待しています。 310担任 久保田 彩	クラブを持ってボールの横に立ちます。 スーパーショットのイメージがとまらなくて心は踊り続けています。そのために長い棒を見つけては素振りに励み、練習場に遊び、YouTubeで研究し、僕は準備万端なのです。 実際には100回以上打っても、思い通りに行くことなくて数回しかありません。 それでも、その数回がめちゃくちゃ気持ちいいんです◎ そんな素敵なあなたから教えてもらったことをみんなにも教えてあげます。 理想の自分を描き続けること そのための準備を欠かさないこと 理想じゃなくても結局楽しいってこと なりたいたい自分に向かってどんなことにも力を抜いて全力で頑張っってね◎ 人生なんてどうせ楽しいだろうから。 いままでありがとう、これからもよろしくね 311担任 高岡 寛貴	今 いのちが あなたを生きている 312担任 松尾 良亮
ご卒業おめでとうございます。 保護者の皆さまにも、心よりお祝い申し上げます。 また、支えていただきありがとうございます。生徒の皆さん、高校3年間どうでしたか？私とはとても楽しかったです。 これからこの3年間より長い人生が待っています。どうか、感謝の心を忘れず、人の痛みに気付くことができる人になってください。 道かい心で一步一步、自分の人生を切り拓いてください。 皆さんと3年間一緒に成長できて本当によかったです。 ありがとうございました。 313担任 彦田 大介	創造力とは、他人を思いやる心である。 314担任 鎗木 勇樹		

Schedule [行事予定]

2月	17日 土	卒業式
	1日 金	2年音楽科修学旅行(～3/8)
3月	5日 火	在校生健康診断
	6日 水	名古屋平成中村座(～3/18)
	19日 火	修了式

令和5年度「愛知県私立学校経常費補助金」の交付金額が決定しました

保護者の皆様には、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。また、私学助成拡充運動にご尽力をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

令和5年度の同朋高等学校への愛知県私立学校経常費補助金の交付金額が右記のように決定しました。長年の私学助成拡充運動が、保護者負担の軽減、教育条件の充実、財政の安定化につながっています。今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます

一般補助	特別補助	合計
506,432千円	30,392千円	536,824千円

同朋高校助成金推進協議会

同朋和敬

修学旅行・自主活動日特集

Doho High School Community Press



生命の誕生は40億年ほど前だと言われている。そして人類の誕生は数百万年前。それ以来、途切れることなくないできた命のバトンの一番先に皆さん一人ひとりがいる。「〇〇が得意である」「〇〇の役に立つ」ということは関係なく、今生きている命が尊い。何ができて、何ができなくても、あなたは尊い。だから安心して精いっぱい取り組んでいけばいい。なるようにしかならぬが、なるようには必ずなる。そのなったところに全生命を打ち込む。「人事を尽くして天命を待つ」のではなく「天命に安んじて人事を尽くす」のだ。

同朋高等学校長 滝 敏行

同朋和敬

2

学校通信

Doho High School Community Press
Vol.232 13 FEB 2024

同朋高等学校 学校通信編集委員会 宇佐美・落合

名古屋市中村区稲葉地町7の1

TEL 052-411-1159

2
Vol.232
学校通信

修学旅行



修学旅行を振り返って

普通科・商業科の生徒1団(201/202/207/208/213)、2団(204/205/209/212)、3団(203/206/210/211)の3団に分かれ、沖縄修学旅行に行ってきました。2年生は高校生活で初めての宿泊行事であり、楽しみにしている様子が事前学習やクラス活動、修学旅行実行委員会の活動からも伝わってきました。

初日は海から始まる平和学習というコンセプトである、沖縄の海が綺麗であるという魅力と同時に戦争が原因で起きた惨劇がその景色に表裏一体に混ざっているという場を現地で見ることを感じることが多くあったと思います。

2日目は「もとぶ元気村」という場集まり、午前の部・午後の部と2回アクティビティーを行いました。3団とも晴天で気温も高いなか沖縄の海を満喫することができました。その後は「美ら海水族館」と「古宇利島」へそれぞれ分かれていき、その後伊江島へ渡るという沖縄を満喫した1日となりました。

2日目の宿泊は伊江島のおじいとおばあのお宅になります。ここでは沖縄料理をお腹いっぱいいただき、夜星空を見に連れていってもらっているようでした。

3日目もおじいとおばあとお過ごす1日です。城山に登ったり、サーターアングギーを作ったり、貝殻でアクセサリ作りをしたり、海で遊んだり、沖縄民族衣装を着せてもらったりと、おじい・おばあの優しさに触れ本当に素敵な1日を過ごすことができました。別れの時



には涙が溢れてきますが、伊江島のおじい・おばあは「いってらっしゃい」と送り出してくれます。

3日目の夜は修学旅行の宿泊も最後の日となります。ここでは沖縄の伝統文化芸能を観ることにし、迫力あるパフォーマンスに感動しました。

4日目はコース別研修としてそれぞれのコースで体験を行っています。

沖縄修学旅行の4日間本当に充実したものとなりました。子どもたちは沖縄を学び・楽しむと同時に、友人・クラス・学年との絆も深めた思い出深いものとなったのではないかと思います。

修学旅行を実施するにあたり、多くの方のご協力のおかげで心に残る修学旅行が実施できました。ありがとうございました。

2年学年主任 小川 幸子



平和学習について

沖縄修学旅行を経験した皆さん、ちょっと思い出してみてください。「沖縄修学旅行で最も印象に残ったことは何ですか?」

きれいな海、おいしいごはん、伊江島での民泊、街で出会うアメリカ軍関係者、友達との会話、フェンスに囲まれたアメリカ軍基地、きれいに撮れた写真、初めて入ったgamma、美ら海水族館の生き物たち、空を轟音で飛ぶ戦闘機、きれいな星空、アメリカンビレッジや国際通りでのショッピング、平和の礎に刻まれた犠牲者の名前…。

同朋高校は沖縄修学旅行をとっても大切な学びの場だと考えています。それは沖縄を通して平和について考えたいからです。修学旅行に旅立つ前、私たちは「事前学習」として英語科・国語科・社会科の授業で沖縄について学びます。内容は歴史や文化、地理や沖縄戦に関するさまざまな事柄です。さらに社会科では生徒たちが沖縄で体験したことを共有して、現在の問題につなげるための「事後学習」に取り組んでいます。一連の学習は「平和学習」と呼ばれます。平和について考え、意見を交流して、更に考える。この終わりのない学習が沖縄を通して行われているのです。

今この瞬間、世界は平和でしょうか?ウクライナとロシアの戦争やイスラエルとパレスチナのニュースが毎日届くだけでなく、すべての人々の心が平安であるとは言えないでしょう。皆さんの住む町は平和ですか?沖縄は平和でしたか?現在の日本は平和と言えるのでしょうか?皆さんが沖縄で過ごしたすべての時間には貴重な経験がたくさん詰まっています。その中には平和について考えるいくつかのヒントもあるはずです。すぐに答えが見つかるような問いではないかもしれませんが、いまを生きる一人の人間として考え続けてほしい問題です。

世界の平和を願い、自分たちのいまに感謝をしながら、周りのあらゆるものと共にあるいまこの時を大切にしていけるよう、同朋高校での平和学習はずっと続きます。

平和学習担当教員 鶴岡 昌毅



やってよかったって思えた

今回の修学旅行実行委員に参加して凄いい経験をすることができました。まず、あまり代表的存在になる機会がなかったのですが、今回3団のキャプテンをやらせていただいて、たくさん初めての経験をしました。実行委員で役割分担をしたり、大人数をまとめたりました。今まで代表的存在になって人をまとめることがなかったので最初は混乱しましたが、委員の子が進んで手伝ってくれたり、声を上げてくれたおかげでスムーズに決めることができました。次は、民泊の離村式でのスピーチです。民泊でお世話になったおじいおばあに感謝を伝えるという重大な仕事を任せられ、離村式が始まる直前まで言葉を考えていました、いろんなことを教えてくれたいろんな場所に連れていってくれたおじいおばあになんて感謝を伝えようか、みんなの感謝、気持ち、を私が代弁できるのかすごく不安でした。スピーチも緊張で声が震えて早口になったりしてしまいましたが、私なりに感謝の気持ちをスピーチすることができました。すごく緊張したけれど、スピーチが終わった後、先生方が「凄いいスピーチだったよ」と言ってくれました。その瞬間に緊張が解け、とても嬉しい気持ちになりました。今回の経験を通して、学生生活最後の修学旅行は凄いいものになりました、勇気をだしてキャプテンになった甲斐もあったと感じました。忘れられない修学旅行になりました。

211 石川 芹奈 (名古屋市立港南中学校出身)



報恩講

“宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年”の慶讃報恩講の式典ひらかれる

11月28日は、浄土真宗の宗祖親鸞聖人の祥月命日です。親鸞聖人の教えを建学の精神とする本校は、本年度は12月1日に1年生の全生徒が体育館に集い、報恩講の式典を行いました。

報恩講とは、親鸞聖人をはじめ、自分にまでお念仏の教えを伝えてくださった先輩方に思いをいたし、その恩徳に感謝し報いる御仏事です。同時にそれは親鸞聖人の言葉に出会い、自らの生活を振り返るお勤めでもあります。今年度の報恩講は、各学科の代表生徒による献花、音楽科生徒の「三帰依(パーリ文)」唱和、その後に真宗大谷派学校連絡会中高部会運営委員であり、養照寺僧侶でもある一柳智史先生に法話をいただきました。一柳先生より仏教の教えについて丁寧に説明していただき、「ともなるいのち」について考えを深めることができました。

2023年は「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年」ということで、今回はその式典の様子を録画、後日保護者の

皆様にはご覧いただく慶讃報恩講。その報恩講を通してお念仏の教えに出会い、自分を見つめ直し、「同朋」という他者と認め合い、共に生きていけるご縁となれば幸いです。

宗教主任 宮城 道良



1年生 自主活動日

今回の自主活動日は、初の6時間全部使っての活動でした。6時間なのでクラ連ではやることを午前と午後に分けることにして、午前は球技大会、午後は各クラスで練習した、ダンス・合唱発表会をすることになりました。

私は午後の発表会の音響の担当になりました。音を流すタイミングや音量がクラスごとに違い、希望通りできるか緊張しました。機材を触らせてもらったのはやる機会がないと思うから、できてよかったと思いました。

活動を通して思ったことは、進んで話を仕切ってくれる子やまとめてくれる子、意見を出してくれる子がいたから自主活動日はよいものになったということです。クラスでも覚える時間が少ない中ダンスの振りを考えてくれる子がいて、みんな頑張ってる覚えようと練習していました。全員がやる気になっていて、そのおかげで本番もよい感じになり、クラスも学年も一体感が増した気がしました。

110 吉野 光治（名古屋市立助光中学校出身）

今回の自主活動日の目標は、学年のつながりを深めること、全員が協力しないとできないことにチャレンジすることでした。クラ連で話し合い、夏の自主活動日はミニ運動会だったので、午前中は球技大会をすることになりました。競技内容、ルール、審判などの割り振りを前日ギリギリまで決めていました。

当日は雨になってしまい、午前の球技大会は残念ながら体育館でドッジボールのみ行われました。ドッジボールはとても盛り上がり、体育館はみんなの声援が響いていました。自主活動日が2回目だったこともあり、みんなの移動や交代も素早く、おかげでほぼ時間通りに進みました。

午後のダンスと合唱の発表はどのクラスも協力しないとできない、素晴らしい発表でした。みんなが一日中楽しんでくれたのがとても嬉しかったです。

102 小野 桜子（名古屋市立港北中学校出身）



2年生 自主活動日

2年生最後の自主活動日は「球技大会」をテーマに、フットサル、女子バスケ、男子バレーと女子バレーを行いました。計画予定の段階では、球技の種目が終わったあとに、人工芝グラウンドで2年生全員参加による「台風の目」を行う予定でした。しかし、計画の練り方が不十分で、悔しくも時間が足りず、次回に持ち越したとなったことは反省点だと思います。

ただ、修学旅行の準備と並行して、各種目の話を練る時間が少ないなか、以前の自主活動日の内容を参考にして、効率よく運営を進める工夫ができたり、学年の要望に応えた競技をすることができたことで一定の達成感を得ることができました。自主活動日の前は「運動が苦手」と気乗りしない友だちも居ましたが、当日、彼らが競技に参加したり応援したりして楽しんでいる姿を見ることができて、企画してよかったと思いました。

また、当日まではクラ連と先生たちで計画を立てていましたが、当日はクラ連に参加していない生徒（女子蹴球部、男子サッカー部、その他の運動部員）たちが、たくさん運営の手伝いをしてくれました。手伝ってくれた人たちがいなければ、運営を上手くできなかった競技もあったので、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の自主活動日をふりかえて、できたところとできなかったところを整理できたので、来年の自主活動日を「よりよく楽しめるもの」にして、かつ予定通りに計画し、運営したいと感じました。

207 長谷川 苺南（豊山町立豊山中学校出身）



3年生 自主活動日

高校生活最後の自主活動日は、「思い出に残ることがしたい」「クラス全員で楽しみたい」「本気で勝負したい」という思いをすべて果たすことを目標に、卒業式実行委員が中心となって4つの種目を企画し、実施しました。私は、自主活動日の企画・運営に参加することは今回が初めてでした。自主活動日は文化祭などでクラスの企画を考えるのとは異なり、人数や男女比が違う14クラスで行うので、企画を考えるのに苦労しました。特に、立てた目標に合った種目を考えるのにかなり悩みましたが何度も話し合って、この目標に沿って学年全員が参加できる4つの種目を行うことに決めました。当日は、天候に恵まれ、人工芝で行うことができました。当日、運営する上で反省点がいくつかありましたが、みんなが積極的に参加してくれたことで目標を達成することができたと思

います。また、「卒業前最後の自主活動日」ということや多くの人が卒業式実行委員に参加していることをアピールすることで、みんなが卒業式について考えてもらうきっかけになったと思います。

私は、残り少ない卒業までの間、今回の自主活動日や今までの行事での経験を活かし、卒業式実行委員のテーマとして掲げた「のこる・のこす」ことができる最高の卒業式を学年全員で作り上げることを目指していきたいです。

306 浅井 孝栄（名古屋市立豊正中学校出身）



Club&Award News

生徒の活躍（2023年9月25日～2024年1月5日）

■柔道部

第46回尾張・名古屋・知多新人柔道体重別選手権大会
男子66Kg級 第3位 岩瀬 大知(108) ⇒ 県大会出場
女子48Kg級 第3位 若山 はづき(211) ⇒ 県大会出場
女子78Kg級 第3位 山本 愛佳(208) ⇒ 県大会出場

令和5年度愛知県高等学校新人体育大会 名南支部予選会
女子団体 第2位

■陸上競技部

第51回名古屋地区陸上競技選手権大会
女子ハンマー投げ(4.000kg)
第4位 丹羽 奏帆(204)

第26回東海高等学校新人陸上競技選手権大会
女子ハンマー投げ(4.000kg)
第10位 丹羽 奏帆(204)

■女子バスケットボール部

第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会
愛知県大会一次トーナメント
名古屋南支部 Cブロック 優勝 ⇒ 二次トーナメント進出

ABA U18リーグ2023-2024シーズン
女子の部 名古屋南支部Wリーグ 優勝

■バドミントン部

令和5年度愛知県高等学校新人体育大会バドミントン競技
名南・知多支部予選会
女子シングルス ベスト8 廣瀬 結(209) ⇒ 県大会出場
女子ダブルス ベスト8 廣瀬 結(209)・柴田 依路(101) ⇒ 県大会出場

令和5年度愛知県高等学校新人体育大会バドミントン競技
愛知県大会
女子シングルス ベスト16 廣瀬 結(209)
女子ダブルス ベスト16 廣瀬 結(209)・柴田 依路(101)

■ラグビー部

第103回全国高等学校ラグビーフットボール大会
愛知県大会 第3位

■ボクシング部

令和5年度愛知県高等学校新人体育大会
フライ級 第2位 野下 琥太郎(204)

■美術部

第70回愛知県私学美術展
絵画・デザイン画部門
中日新聞奨励賞 柳 絢子(308)

■商業科

令和5年度税を考える高校生の作文
名古屋中村税務署長賞 三輪 結香(211)

■音楽科

ヤマハエレクトーンフェスティバル(YEF)2023
愛知地区大会 ソロ演奏部門[一般部門]
金賞 藤井 きらり(214) ⇒ セミファイナル出場権獲得
金賞 富永 祐聖(112) ⇒ セミファイナル出場権獲得

ヤマハエレクトーンフェスティバル(YEF)2023
セミファイナル ソロ演奏部門[一般部門]
吉房 駿(214) ⇒ グランドファイナル出場権獲得

■国語科

第34回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞
都道府県賞 吉田 妃穂(207)
佳作特別賞 神野 心香(202)
佳作 加賀 優音(207)、水野 未悠(207)
守屋 歌織(214)、米安 小春(214)
鈴木 歩美(302)、山田 歩美(306)
服部 杏南(312)

同朋高校 オープン・フォーラム2023について

そもそもフォーラムとは、古代ローマにあった集会用の広場を指す言葉です。本校では、20年以上前から学校を開放し、保護者・生徒・市民・教員と教育を語り合い、学校を作ってきました。

今年度も4月から保護者・生徒・教員が集まり、実行委員会を重ねて議論してきました。テーマを「これってどうなの？価値観を交流させて見えてくるもの」と題し、学校で普段思っていることや、社会的にこうだと言われることについて、考えを共有し、深める会にすることにしました。当日は170名程の人が集まり、生活指導部・教務部・進路指導部・保護者・生徒会からの話題を分散会形式で話し合いました。アットホームな雰囲気の中、立場の異なる人たちの考えを聞き、自身の思いを伝え合いました。また一つの正解を求めず、さまざまな考えを共有することで、みんなで大切にしたいことを確認できたグループもありました。

講評をいただいた名古屋造形大学教授大橋基博先生の言葉にもあったように、これからも同朋高校は「ちょっと変わった学校」として、保護者・生徒・市民・教員がさまざまな観点からそれぞれの立場で、教育や子育てについて議論し合っていきたいと考えています。

総務 久保田 彩

